



ようらん
揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

☆5月28日(金) 春季クラスマッチ

どの学年もチームワークのよさでは互角の勝負でしたが、女子は2年生が圧倒的な強さで優勝、男子も大接戦の末2年生が3年生に競り勝ちました。



☆5月31日(月)
サツマイモを植えよう

今年は安納芋にかわって紅あずまを植えました。人気のねっとりとした甘さと、ほくほくとしたおイモらしさが味わえる品種です。



☆6月8日(火) 大豆の種まき

「ふるさとの味を伝える会」の皆さんのご指導で中条小・中の生徒たちと一緒に作業をしています。頼りになるお兄さんお姉さんぶりを発揮します。



☆6月14日(月) 地域を学ぼう

普段からお世話になっている中条交流センターの岩下 彰センター長さんから昔の山村の生活や西山地区を代表する原始・古代集落跡の宮遺跡についてご講義いただきました。



☆6月18日(金) 2年教養コース

理科の小原先生に振り付けを教えていただき BTS の「Dynamaiite」でストレス発散です。



【生徒の感想】

- ・広い場所というか、畑で作業するのは初めてです。気持ち晴ればれとして爽快だった。
- ・種まきの仕事は、腰をかがめて2粒ずつまきました。しばらくやるとかなり腰が痛くなってきて、これは大変なことだと心の底から思いました。
- ・一定の間隔を決めて種を置いていくのですが、まいているうちに「育て育て」と自然と声をかけていた。
- ・斜面が割と急なので作業が辛い。こういう地形を利用して大豆を育てる工夫に気づくことができた。
- ・小学生と一緒に作業ができたり話ができて面白かった。話を聞くと小学生もけっこう悩みがあるんだと思った。